

横浜市立新井中学校校歌

一

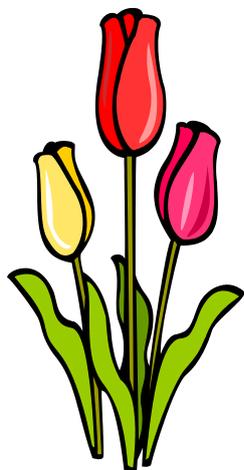
二

三

新理立緑丘
 新想ちの広
 求し大く
 新め学地
 井て舎 富
 こ士
 中 和
 田 多
 喜 史
 直 雄
 作 作
 曲 詞

新希夢世海
 井望通界広
 遙わのく
 新かせ港
 井にて 船
 こは
 我学若の行
 我集若のに
 等え人丘真
 がるのに向
 新と う
 井ころ
 ろ

新明生み空
 井日命な広
 をのぎく
 新めかる
 井ざぎ力風
 しりに
 我て さ光
 等 若わに
 が鍛人や
 新えのか
 井ると
 ところ



作詞者のことば	作曲者のことば
<p>港都横浜の、やや街の中心を離れ、静かで緑の多い丘の上に立つこの学校で、若い皆さんが、理想を求めて、希望を抱き、夢を世界に馳せながら明日をめざしてがんばってくださることを念じ、そんな気持ちを歌い込みました。そして、さわやかで、親しみ易く、歌い易いものになりたいとおもいました。</p>	<p>校歌というものは歌詞が意味を持っているので歌詞が大切です。この校歌は歌詞が良かったので気持ちよく作曲することができました。校歌はその学校のうたで、皆さんだけのものですから、在学時代は勿論、卒業してからも、いつまでも大事にして歌い続けてほしいと思います。</p>
和多史雄先生	中田喜直先生
<p>教育者。大正14年、兵庫県に生まれる。東洋大学文学部哲学科を卒業、中国哲学を専攻する。</p> <p>昭和26年、横浜市立寺尾中学校に勤務。以後、日吉台中学校の教諭、寺尾中学校副校長、岩井原中学校副校長を経て、昭和52年新井中学校初代校長として現代に至る。</p> <p>国語教育者として、横浜市、神奈川県等の研究役員、文部省国語指導資料作成委員、文部省教科用図書検定基準改訂委員、等の他に、日本作文教育研究会中央委員、日本国語教育学会理事、などを歴任し、月刊「国語教育研究」の編集に当たる。また、昭和42年以降、継続して中学校国語教科書の編集に従事しており、その間、国語関係の著書、編著書多数がある。</p> <p>昭和39年、横浜市教育委員会より教育功労賞を受賞する。</p>	<p>作曲家。大正12年、東京生まれ。父（中田章…早春賦などの作曲者）の影響でピアノや作曲に興味を持つ。昭和18年東京音楽学校（現在の芸術大学）ピアノ科を卒業。</p> <p>昭和22年ごろ本格的創作活動に入り、現在に至る。一般大衆には「雪の降る町を」「夏の思い出」「小さい秋見つけた」などが知られている。が、主要な作品は本格的な、歌詞、合唱曲、ピアノ曲などで、その大部分の作品が出版、レコード化され、諸外国で演奏されることも多い。</p> <p>また「めだかの学校」などのような童謡や、少年少女のための合唱曲なども多数ある。</p> <p>昭和24年、音楽コンクール入賞。毎日音楽賞、芸術祭賞、久留島武彦文化賞、横浜文化賞など、数多くの賞を受けている。</p> <p>日本音楽著作権協会理事。フェリス女子学院短期大学教授などの職にあった。</p>